



基勞補発第0805001号

平成16年8月5日

財団法人労災保険情報センター専務理事 殿

厚生労働省労働基準局

労災補償部補償課長

平成16年度労災診療費実態調査の実施について（依頼）

標記については、今後の労災診療費の適正な運営の基礎資料とするため、平成16年度労災診療費点検等業務委託契約に基づき、別添の「労災診療費実態調査実施要領」により調査を実施されるようお願いいたします。

労災診療費実態調査実施要領

1 労災診療費行為別実態調査に関する実施要領

(1) 調査対象

平成16年9月支払い済分の診療費請求内訳書（以下「レセプト」という。）
とすること。

(2) 抽出方法

レセプトを「入院」と「入院外」に区分し、別紙1の「労災診療費実態調査抽出件数表」により抽出すること。

なお、抽出に当たっては特定の医療機関等に偏ることのないよう留意すること。

(3) 集計要領

別紙2「労災診療費実態調査集計要領」により集計を行い、都道府県別支払済実件数を抽出件数で除した復元倍率（小数点以下第6位を四捨五入し、小数点以下第5位まで求める。）により復元した後、別添の様式に従い、次の集計表を作成すること。

表1 労災診療費行為別実態調査集計表

(4) 結果報告

上記(3)で作成した集計結果について、平成16年11月末日までに、厚生労働省労働基準局労災補償部補償課あて報告すること。

2 長期療養者に関する調査実施要領

(1) 調査対象

骨折により平成14年度末現在3年以上療養している長期療養者312名
(療養継続者 157名、治ゆ者(中止) 155名)

(2) 調査方法

イ 集計項目

対象となる長期療養者の

- ① 性別
- ② 発症年代
- ③ 行為別診療内容の有無
(治ゆ者は、治ゆまたは中止前1ヵ年、継続者は調査の直近1ヵ年の診療行為の有無。手術については実施手術名と実施時期)
- ④ 骨折の箇所と合併症の有無
- ⑤ 完全・不完全骨折の区分
- ⑥ 骨折部位
- ⑦ 閉鎖・開放骨折の区分
- ⑧ 骨折の種類
- ⑨ 局所合併症の有無及び発生時期
- ⑩ 全身合併症の有無及び発生時期
- ⑪ 手術回数
- ⑫ その他(再発、中止の時期等)
- ⑬ ①から⑫の項目を踏まえた療養長期化の要因となる項目を列举
について次の調査表を作成すること。

表2 長期療養者(骨折)個人別調査結果表

ロ 分析内容

- ① 上記調査項目のそれぞれの事項について多寡の統計的处理
- ② (2) ⑬に列举した各被災労働者の療養長期化の要因の特徴的な傾向の分析

(1) 療養の長期化に関与の度合いが大きいと思われる合併症

(2) (1) の合併症に見られる特徴（骨折部位、種類等）

③ その他

(3) 結果報告

調査結果報告書は、平成16年12月末までに厚生労働省労働基準局労災補償部補償課あて提出すること。

労災診療費実態調査抽出件数表

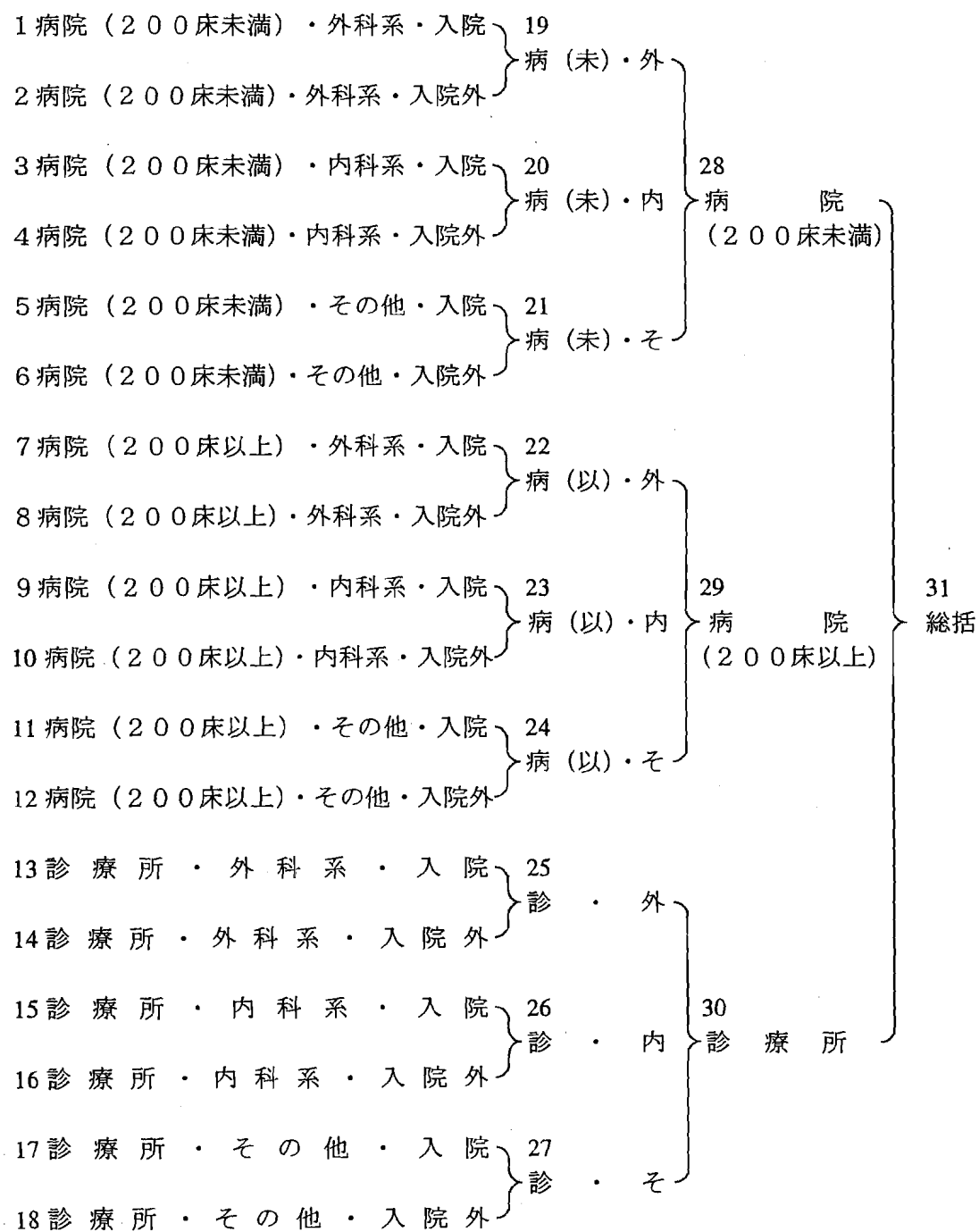
		入 院	入 院 外	合 計
1	北海道	320	521	841
2	青森県	34	52	86
3	岩手県	34	53	87
4	宮城県	52	92	144
5	秋田県	35	68	103
6	山形県	24	55	79
7	福島県	51	93	144
8	茨城県	45	82	127
9	栃木県	43	77	120
10	群馬県	49	98	147
11	埼玉県	104	255	359
12	千葉県	95	205	300
13	東京都	178	522	700
14	神奈川県	142	330	472
15	新潟県	53	133	186
16	富山県	37	55	92
17	石川県	40	52	92
18	福井県	27	39	66
19	山梨県	29	36	65
20	長野県	42	88	130
21	岐阜県	50	128	178
22	静岡県	69	198	267
23	愛知県	155	379	534
24	三重県	55	138	193
25	滋賀県	27	73	100
26	京都府	61	171	232
27	大阪府	240	553	793
28	兵庫県	151	284	435
29	奈良県	34	65	99
30	和歌山県	42	80	122
31	鳥取県	18	24	42
32	島根県	21	35	56
33	岡山県	80	132	212
34	広島県	96	197	293
35	山口県	47	72	119
36	徳島県	38	73	111
37	香川県	37	51	88
38	愛媛県	79	130	209
39	高知県	57	115	172
40	福岡県	202	270	472
41	佐賀県	28	39	67
42	長崎県	57	79	136
43	熊本県	75	100	175
44	大分県	76	160	236
45	宮崎県	52	97	149
46	鹿児島県	51	83	134
47	沖縄県	14	22	36
合 計		3,346	6,654	10,000

労災診療費実態調査集計要領

1 全国計

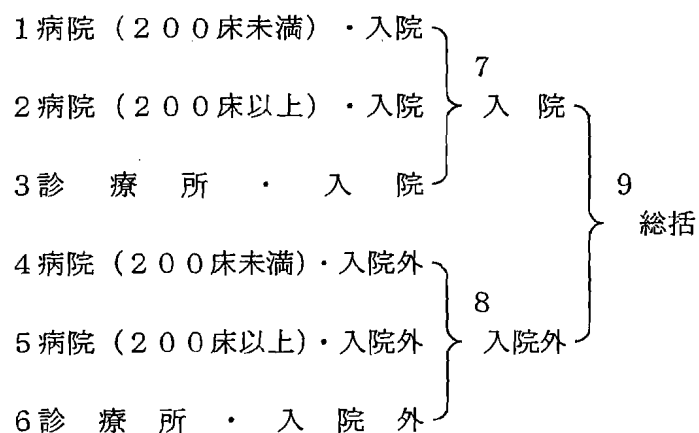
イ 診療科別、病院（200床未満）・病院（200床以上）・診療所別、入院・入院外別の診療費行為区分の集計

下記の1～31の区分により集計すること。



ロ 病院（２００床未満）・病院（２００床以上）・診療所別、入院・入院外別の診療費行為区分の集計

下記の１～９の区分により集計すること。



〈診療科区分〉

内 科 系	外 科 系	そ の 他
内 科	外 科	眼 科
診 療 内 科	整 形 外 科	耳 鼻 咽 喉 科
精 神 科	形 成 外 科	皮 膚 科
神 経 科	脳 神 経 外 科	泌 尿 器 科
呼 吸 器 科	呼 吸 器 外 科	放 射 線 科
消 化 器 科	心 臓 血 管 外 科	歯 科
循 環 器 科	リハビリテーション診療科	

平成 年 月 支 分 労災診療費行別実態調査集計表 (病院・診療所 外科系・内科系・その他 入院・入院外・総括)

(③診療費実日数合計)

(⑩賃元後診療実日数)

(⑥% = 小数点第2位まで (第3位四捨五入))

①大区分	②小区分	③点数	④金額 (③×単価) 円	⑤賃元後金額 (④×復元係数) 円	⑥大区分小計 (1 実日数当たり 単価④÷③)	大区分比 ⑥÷⑦ %	大区分内比 ⑤÷⑥ %	構成比 ⑤÷⑦ %
診療料	1	1 初診料			(@)			
		2 時間外・休日・深夜加算						
		3 救急医療管理加算						
		4 再診料						
		5 外来診療料						
		6 時間外・休日・深夜加算						
		7 外来管理加算						
		8 確保指導料						
		9 再診時療養指導管理料						
		10 在宅医療						
		11 その他						
投薬料	2	1 投薬料 (薬剤)			(@)			
		2 技術料 (処方料他)						
注射料	3	1 注射料 (薬剤)			(@)			
		2 技術料 (手技料他)						
処置料	4	1 初診時ブラッシング料			(@)			
		2 処置料						
		3 手指の特例処置料						
		4 四肢の特例処置料						
		5 消炎鎮痛等処置料						
		6 手指の特例消炎鎮痛等処置料						
		7 四肢の特例消炎鎮痛等処置料						
		8 介達牽引料						
		9 四肢の特例介達牽引料						
		10 ギブス料						
		11 薬剤・材料						
手術料	5	1 手術料			(@)			
		2 手指の特例手術料						
		3 四肢の特例手術料						
		4-1 指ごとの創傷処理特例手術料 (1本)						
		4-2 指ごとの創傷処理特例手術料 (2本)						
		4-3 指ごとの創傷処理特例手術料 (3本)						
		4-4 指ごとの創傷処理特例手術料 (4本)						
		4-5 指ごとの創傷処理特例手術料 (5本)						
		5-1 指ごとの骨折非観血的手術料 (1本)						
		5-2 指ごとの骨折非観血的手術料 (2本)						
		5-3 指ごとの骨折非観血的手術料 (3本)						
検査料	6	5-4 指ごとの骨折非観血的手術料 (4本)			(@)			
		5-5 指ごとの骨折非観血的手術料 (5本)						
		6 機能回復指導加算						
		7 麻酔料						
		8 輸血料						
		9 薬剤・材料						
		1 検査料 (手技判断料含む)						
		2 振動除害検査料						
		3 薬剤・材料						
		1 単純撮影・診断料			(@)			
		2 コンピュータ断層撮影 (CT)						
画像診断料	7	3 コンピュータ断層撮影 (特殊CT)						
		4 コンピュータ断層撮影 (MRI)						
		5 コンピュータ断層撮影 (特殊MRI)						
		6 薬剤						
		1 理学療法 個別療法			(@)			
		2 理学療法 集団療法						
		3 四肢の特例理学療法 個別療法						
		4 四肢の特例理学療法 集団療法						
		5 早期リハビリテーション加算 (理学療法)						
		6 作業療法 個別療法						
		7 作業療法 集団療法						
		8 四肢の特例作業療法 個別療法						
		9 四肢の特例作業療法 集団療法						
		10 早期リハビリテーション加算 (作業療法)						
		11 リハビリテーション総合計画評価料						
リハビリテーション料	8	12 理学療法併施加算			(@)			
		13 言語聴覚療法						
		14 早期リハビリテーション加算 (言語聴覚療法)						
		15 その他						
		1 入院基本料			(@)			
		2 入院基本料加算						
		3 病室貸与料						
		4 労災治療計画加算						
		5-1 入院室料加算 (甲) 個室						
		5-2 入院室料加算 (甲) 2人						
		5-3 入院室料加算 (甲) 3人						
		5-4 入院室料加算 (甲) 4人						
		5-5 入院室料加算 (乙) 個室						
		5-6 入院室料加算 (乙) 2人						
		5-7 入院室料加算 (乙) 3人						
入院料	9	5-8 入院室料加算 (乙) 4人			(@)			
		6 特定集中治療室管理料						
		7 救命救急入院料						
		8 その他						
		9 食事療養費						
		1 再就労療養指導管理料			(@)			
		2 療養の給付請求書取扱料						
		3 診療情報提供料						
		4 休業証明書料						
		5 診断書料						
		6 放射線治療料						
		7 労災付添看護・特別労災付添看護						
		8 その他 (点数)						
		9 その他 (金額)						
その他	10	合計		⑦	(@)	100.00		100.00

9桁

10桁

11桁

11桁

() 内6桁

各々3桁+小数点以下2桁

計5桁

診療行為別コード表

参 考

大 区 分		小 区 分	
区 分	コード	コード	診療行為別区分
診 察 料	1	1	初診料
		2	時間外・休日・深夜加算
		3	救急医療管理加算
		4	再診料
		5	外来診療料
		6	時間外・休日・深夜加算
		7	外来管理加算
		8	健保指導料
		9	再診時療養指導管理料
		10	在宅療養
		11	その他
投 薬 料	2	1	投薬料(薬剤)
		2	技術料(処方料他)
注 射 料	3	1	注射料(薬剤)
		2	技術料(処方料他)
処 置 料	4	1	初診時ブラッシング料
		2	処置料
		3	手指の特例処置料
		4	四肢の特例処置料
		5	消炎鎮痛等処置料
		6	手指の特例消炎鎮痛等処置料
		7	四肢の特例消炎鎮痛等処置料
		8	介達率引料
		9	四肢の特例介達率引料
		10	ギブス料
		11	薬剤・材料
手 術 料	5	1	手術料
		2	手指の特例手術料
		3	四肢の特例手術料
		4-1	指ごとの創傷処理の特例手術料(1本)
		4-2	指ごとの創傷処理の特例手術料(2本)
		4-3	指ごとの創傷処理の特例手術料(3本)
		4-4	指ごとの創傷処理の特例手術料(4本)
		4-5	指ごとの創傷処理の特例手術料(5本)
		5-1	指ごとの骨折非観血整復術料(1本)
		5-2	指ごとの骨折非観血整復術料(2本)
		5-3	指ごとの骨折非観血整復術料(3本)
		5-4	指ごとの骨折非観血整復術料(4本)
		5-5	指ごとの骨折非観血整復術料(5本)
		6	機能回復指導加算
		7	麻酔料
		8	輸血料
		9	薬剤・材料
検 査 料	6	1	検査料(手技判断料含む)
		2	振動障害検査料
		3	薬剤・材料

大 区 分		小 区 分	
区 分	コード	コード	診療行為別区分
画 像 診 断 料	7	1	単純撮影・診断料
		2	コンピュータ断層撮影(CT)
		3	コンピュータ断層撮影(特殊CT)
		4	コンピュータ断層撮影(MRI)
		5	コンピュータ断層撮影(特殊MRI)
		6	薬剤
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 料	8	1	理学療法 個別療法
		2	理学療法 集団療法
		3	四肢の特例理学療法 個別療法
		4	四肢の特例理学療法 集団療法
		5	早期リハビリテーション加算(理学療法)
		6	作業療法 個別療法
		7	作業療法 集団療法
		8	四肢の特例作業療法 個別療法
		9	四肢の特例作業療法 集団療法
		10	早期リハビリテーション加算(作業療法)
		11	リハビリテーション総合計画評価料
		12	理学療法併施加算
		13	言語聴覚療法
		14	早期リハビリテーション加算(言語聴覚療法)
		15	その他
入 院 料	9	1	入院基本料
		2	入院基本料加算
		3	病衣貸与料
		4	労災治療計画加算
		5-1	入院室料加算(甲) 個 室
		5-2	入院室料加算(甲) 2 人
		5-3	入院室料加算(甲) 3 人
		5-4	入院室料加算(甲) 4 人
		5-5	入院室料加算(乙) 個 室
		5-6	入院室料加算(乙) 2 人
		5-7	入院室料加算(乙) 3 人
		5-8	入院室料加算(乙) 4 人
		6	特定集中治療室管理料
そ の 他	10	7	救命救急入院料
		8	その他
		9	食事療養費
		1	再就労療養指導管理料
		2	療養の給付請求書取扱料
		3	診療情報提供料
		4	休業証明料
		5	診断書料
		6	放射線治療料
		7	労災付添看護料・特別労災付添看護料
		8	その他(点数)
		9	その他(金額)

長期療養者(骨折)個人別調査結果表

療養期間	初診日 年 月～最終治療 年 月＝合計療養期間 年 月		入院期間 年 月		再入院期間 年 月		外来期間 年 月				
性 別	男	女									
A 発症年代	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代				
B 行為別診療内容	(1) 手術						実施時期				
注：(2)～(7)については、治癒者は治癒前1か年の治療内容を調査、継続者は直近1か年の治療内容を調査。 ただし、リハビリについては全期間での実施始の期と終期を記入。	(2) 処置	有	無								
	(3) 薬剤	有	無								
	(4) 注射	有	無								
	(5) 検査	有	無								
	(6) X-P	有	無								
	(7) リハビリ	有	無	①理学療法 (～)	②作業療法 (～)	③言語聴覚療法	④早期リハ 無				
	C 骨折数+合併症	①骨折1か所+合併症なし		②骨折複数+合併症なし		③骨折1か所+合併症あり		④骨折複数+合併症あり			
D 折れ方分類	①完全骨折					②不完全骨折					
E 骨折部位	1頭蓋骨	2頬骨	3上顎	4下顎	5眼窩	6頸椎	7胸椎	8腰椎	9胸骨	10肋骨	11腸骨
	12仙骨	13尾骨	14骨盤	15鎖骨	16肩甲骨	17上腕骨	18橈骨	19尺骨	20前腕骨	21手根骨	22中手骨
	23手指骨	24大腿骨	25膝蓋骨	26脛骨	27腓骨	28下腿骨	29踵骨	30距骨	31足根骨	32中足骨	33趾骨
F 外界との交通の有無	①閉鎖骨折					②開放骨折					
G 骨折の種類	①関節内骨折	②脱臼骨折	③陥没骨折	④圧迫骨折	⑤破裂骨折	⑥裂離骨折	⑦亀裂骨折	⑧粉碎骨折	⑨ふつうの骨折	⑩その他	
H 局所合併症 () は診療開始年月	(1) 皮膚・軟部組織損傷										
	(2) 血管損傷										
	(3) 阻血性拘縮										
	(4) 末梢神経損傷										
	(5) 感染										
	(6) 外傷性骨化性筋炎										
	(7) コンパートメント症候群										
	(8) RSD										
	(9) カウサルギー										
	(10) その他										
I 全身合併症 () は診療開始年月	(1) 脂肪栓塞症候群										
	(2) 深部静脈血栓症										
	(3) 泌尿器障害										
	(4) 脳障害										
	(5) 肺梗塞										
	(6) 肺炎										
	(7) 内臓損傷										
	(8) その他										
J 手術回数	①1骨折1回		②1骨折2回以上		③複数骨折2回以上		④骨折以外の合併症につき1回		⑤骨折以外の合併症につき2回以上		
K その他											
療養長期化選択要因											

※ 手術名、合併症名の後の数字は、実施または診療開始の年/月